

# 株式会社扶桑社 様

## ■株式会社扶桑社について

株式会社扶桑社は、20～30代男性に圧倒的人気の週刊誌『SPA!』をはじめ、暮らしに役立つ生活情報誌『ESSE』や住宅情報誌『SUMAI no SEKKEI (住まいの設計)』等、幅広い読者を対象とした週刊誌や月刊誌等の刊行を行っており、様々な読者の好奇心を、独創的な視点で満たす誌面づくりが広く支持されています。

週刊誌、月刊誌以外にも、新書、文庫、フジテレビの番組関連書籍等の刊行などを幅広く手掛け、恋愛事情やエンターテインメント情報から、ビジネス・経済情報に至るまで、様々な読者の情報ニーズを満たしています。



## 会社概要

会社名	株式会社扶桑社 FUSOSHA Publishing Inc.
設立	1984年5月8日 (株式会社リビングマガジンから株式会社扶桑社に商号変更) 1987年8月1日 (株式会社サンケイ出版と合併)
代表者	代表取締役社長 久保田 榮一
資本金	20億円
所在地	〒150-8070 東京都港区海岸1-15-1 スズエベイティアム 4F～7F
社員数	134名 (平成24年2月13日現在)
URL	<a href="http://www.fusosha.co.jp/">http://www.fusosha.co.jp/</a>



株式会社扶桑社は、フジサンケイグループ (79社、5法人、3美術館、10,000名強の従業員からなる日本最大のメディア・コングロマリット) において雑誌・書籍出版、録音録画物の企画・制作を担当しています。

## ■弊社サービスをご導入いただく前の状況についてお聞かせください。

### 【石上 様】

弊社では、「SPA!」や「ESSE」等に代表される週刊誌、月刊誌や、一般書籍、文庫、新書等、多数の出版物を刊行しており、個々の締め切り対応に、オフィスは実質24時間体制で稼働しているような状況です。業務上、原稿や写真データのやり取りをはじめ、リサーチ、デザイン確認等、インターネットに依存する部分も多く、締め切り直前のネットワーク障害は出版物の刊行に重大な影響を及ぼすことが予想されました。

このようなリスクを軽減するために、万が一の障害発生に対しても、昼夜を問わず迅速に対応できる体制が必要でした。その当時は、LAN側、WAN側共に社内担当者が一括して管理していたため、担当者不在時の障害対応が困難であり、深夜に発生したネットワーク障害対応に、夜中3時に会社へ向かったこともありました。

24時間体制に向けた人員の確保も検討しましたが、見積り段階で予想以上のコストがかかることがわかり、解決策に悩んでいました。

そのような時期に、ちょうどバリオセキュア営業の方より、セキュリティサービスの提案の機会があったのですが、その時点では、バリオセキュアという会社について、正直何も知らなかったため、サービス内容には魅力を感じたものの、値段の安さに正直あやしいサービスなのでは?と思いました (笑)。

その後、弊社主回線の担当営業にバリオセキュアについて問い合わせたところ、既にパートナーとしてサービスを提供しているということを知り、安心して契約させていただきました。後日、弊社で利用しているホスティング事業者でも、バリオセキュアのセキュリティサービスがオプション提供されていることを知り、更に信頼度がアップしました (笑)。

## ■弊社サービスご導入後の感想についてお聞かせいただけますか?

### 【石上 様】

社内の大幅なネットワークの見直しの機会に併せて、VSRの導入を実施しました。従来の独立した2つのネットワークを統合し、ゲートウェイをホットスタンバイ構成とすることで、機器障害のリスクを軽減しました。また、従来独立して使用していた2回線を、メイン回線、予備回線によるマルチホーミング構成にすることで、回線障害対策も実現しました。さらに、予備回線を昼の時間帯にバックアップデータをデータセンターへ送信する目的としても利用できるようにしたため、業務で使用するメイン回線の負荷分散と、予備回線の有効活用にも役立ちました。

実際に新しいネットワークでの運用を開始してからも、ゲートウェイに関わるトラブルはなく、安定して稼働しています。また、ちょっとしたことでWAN側に関してはサポートセンターへ電話するだけで簡単に切り分けが済むようになったため、社内担当はLAN側のトラブル解決に集中できるようになりました。

『サービス導入後でも、フィルタ機能などを簡単に追加できる点も魅力です』

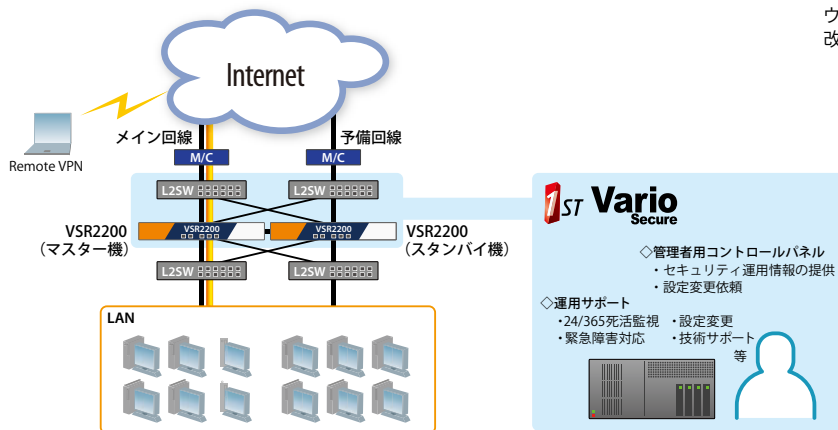


情報システムチーム  
石上 展道 様

弊社では、個人情報保護法の施行の際、どうせやるなら徹底してやろうという方針であったため、入退室管理や情報管理、セキュリティ対策等、業界内でもかなり先行して対策に取り組んできたと自負しています。ネットワークセキュリティに関しても、今後も引き続き、通信環境や業務の必要性に応じた改善を検討していく必要があると思いますが、そのような将来のニーズに対して、後からセキュリティ機能やスペックを容易に変更できる点もサービスの魅力と感じます。実際、ネットワークの強化に併せ、セキュリティ機器をVSR2000シリーズからVSR2200シリーズへとアップグレード、一部機能追加を行いました。非常に簡単に移行が完了しました。

弊社のような出版社では、情報システムに係る人材の育成は今後の課題ではあるものの、社内の運用負担を一括してアウトソーシングできるサービスを有効活用することで、社内負担の軽減と同時に、安定したネットワークの維持に向けた体制づくりが可能であると感じています。

#### ■VSRマネージドセキュリティサービス提供イメージ図



『サービス導入前は、クライアントからWAN側まで一括して対応していたため、トラブル発生時の原因特定にとっても苦労したことを思い出します。』

その後のセキュリティアウトソーシングと、大幅なネットワークの見直しによる相乗効果で、通信環境の信頼性と、緊急時の対応力を大幅に向上させることができました。今後も、専門家によるアウトソーシングサービスを有効活用し、日々、社内通信インフラの改善を検討していきたいと思っています。』

